

その他

## 国際看護－小さなマルタ共和国の質の高いヘルスケアと看護への挑戦

### Global Health and Nursing: a small country with high quality of health care in Malta

西川まり子<sup>1)</sup>, 木村 誠子<sup>1)</sup>, 芥川 清香<sup>1)</sup>, 津田 右子<sup>2)</sup>, 井筒 潤子<sup>3)</sup>, 久米 絢弓<sup>4)</sup>

Mariko Nishikawa<sup>1)</sup>, Masako Kimura<sup>1)</sup>, Kiyoka Akutagawa<sup>1)</sup>,  
Yuko Tsuda<sup>2)</sup>, Junko Izutsu<sup>3)</sup>, Ayami Kume<sup>4)</sup>

### 要 旨

日本と肩を並べ世界トップクラスの長寿国であるマルタ共和国は、非常に小さな島国で日本ではほとんど知られていない。マルタ共和国の人口は40.3万人で、年間約1,000万人の外国人観光客を受け入れている。この小さな国の医療観光者を含む全ての人々に平等に行き渡る無料で質の高い大きなヘルスケアについて、日本でも参考にし得る事があるか模索した。その結果、患者中心で外国人を含めた皆に平等なヘルスケアを目指している事、タイムリーに整う多言語通訳サービスの充実と退職した看護師の積極的な人材活用への挑戦は日本も参考にし得ると考える。

**キーワード：**国際看護，マルタ共和国，ヘルスシステム，医療観光，看護

**Key words :** global health and nursing, Malta, health system, medical tourism, nursing

---

1) 広島国際大学看護学部 (Department of Nursing, Hiroshima International University)

2) 広島都市学園大学健康科学部 (Department of Health Sciences, Hiroshima Cosmopolitan University)

3) 八千代病院 (Yachiyo Hospital)

4) 筑波大学人間総合科学研究科 (Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba)

## I. 緒言

世界第5位の長寿国であるマルタ共和国（以下、マルタ）は、ヨーロッパでは皇室をはじめとする新婚旅行などでなじみが深く、ナイチンゲールがクリミア戦争へ出発する時に立ち寄っているが、非常に小さな島国であることから日本ではほとんど知られていない。マルタの医療に関連する情報の収集は、インターネットを介しても日本では限られる。近年、ヘルスケアの平等な供給が議論されている中（Marmot, 2007）、この国では外国人も含めて人々に対して、平等に完全無料の質の高いヘルスケアを実践している。その反面、日本の看護の現状と類似した看護師不足も抱えており、身近にも感じる。2011年4月の国民総人口は40.3万人で、年間1,000万人余りの観光客を受けいれている観光大国だけに、旅行者への優しい心配りが心に残る。本編では、国の目標に“Make Proud to be Nurses”を掲げているマルタ共和国の情勢、統計指標、ヘルスシステム、看護師の現状と未来への挑戦について述べる。さらにICN（国際看護師協会学術集会）2011における現地施設の見学で得た、医療観光を含む急性期病院と高齢者のための医療施設を含むセンターの見識と現地の看護師からの説明も追筆する。これらから、日本でも参考にし得る事があるか模索する。

### 1. 国の情勢

この国は1530年にKnights of St. Johnが支配して以来、長い歴史がある。地図上で見つけるのが困難なほど小さく、点の様に見えるこの国は(図1)、日本の淡路島の約半分の国土を有し、地中海気候のため温暖である。なだらかな丘陵で四方を海で囲まれている故に、歴史的に多くの戦争に巻き込まれてきた。1964年にイギリスから独立し、現在はヨーロッパの最南端として平和で安定した国となっている。また、アフリ



図1 マルタ共和国の位置

資料：Map Malta Malta.com (2011).

カ、中東とヨーロッパの文化が共存し、人々の端正な顔つきの中に、心の温もりを感じる国でもある。海以外の資源を持たない国であることから、海産物及び医療観光を含めた観光が主な産業である。2004年にEU27カ国に加盟し、経済的にも安定している。

## 2. マルタ共和国と日本のヘルス統計

日本と比較したマルタのヘルス関連を含めた、国の統計指標を表1に示す。

## II. ICN Conference 2011 Malta

### 1. マルタ共和国のヘルスシステムの紹介

Minister for Health, the Elderly and Community Care 担当者の Dr. Joseph Cassar 氏の講演で(2011)、マルタのヘルスシステムのゴールは、包括的なヘルスケアシステムで伝統的な質の高いケアと近代的な医療を持ち合わせていくことであると述べている。将来的には、経済の成長と共に人々のQOLを高めること、患者中心で価値が見いだせ、責任の持てるヘルスケア、さらに地中海の中核となることである。

マルタ共和国のヘルスシステムは、パブリックのシステムは統一されており、国民保険制度、税金からのサポートによって医療費の完全無料

表1. マルタの基本統計

	総人口 (1,000)	人口の年 間増加率 (%)	一人あたり のGNI (US\$)	一人あたり のGDPの 年間平均 成長率 (%)	成人識字 率(%)	出生時平 均寿命 (歳)	5歳未満児 死亡率の 世界順位	乳児死亡 率(出生 1,000対)	妊産婦死 亡率(1/n)	HDI (人間 開発指数) 順位*
年	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2008	2005	2010
マルタ共和国	407	0.6	16,680	2.6	92	80	158	6	1/8300	33
日本	127,293	0.1	38,210	1.0	-	83	172	3	1/11600	11

資料：UNICEF (2010). The State of the World's Children 2010, New York, USA.

\*UNDP (2010). Human Development Report 2010.

を実施している。プライベートのシステムでは保険、或いは自己負担で医療費を支払う。これにより近年、医療費は増加しているが、平均寿命は他のEU連盟諸国の平均と比較しても男性77.7、女性82.5と高水準を示しており（EU平均 男性76.3、女性82.4）、ヘルスシステムは一定の効果をあげていると言える。このマルタのヘルスシステムの恩恵を受けられるのは、マルタの国民をはじめとしてEU連盟諸国の人など大変幅が広い（表2）。

将来に向けては、数年後に60歳以上人口が25%を占めるようになることをふまえて、高齢者へのサービス拡充、コミュニティーサービスの拡大、NGOやプライベートセクターとの共働が必要となる。また、2015年にはマルタの医療産業を最高のレベルにしていくことも掲げている。そのために、スペシャリストの育成、海外からの大学卒業生のトレーニング、十分なス

タッフの確保、高齢者やマイノリティー、精神病患者などの社会の弱者へのケアの充実が必要となる。さらに、医療とテクノロジーの革新と人々に受け入れられるヘルスポリシーの目標設定をあげることが重要である。

## 2. 看護の現状と将来にむけての挑戦

Nursing Services Standards Directorate である Jesmond Sharples 氏の講演で (ICN, 2011)、マルタ共和国の看護の歴史は、1767年に助産師、1795年に看護師が記録されているという。現在40.3万人に2,600名の看護師と150名の助産師が存在し、人口10,000人に対する比率は看護師645、助産師37で、EUの中でも高い。双方とも、一次、二次、三次的ケア、マネージメント、教育や研究などさまざまな分野で活躍している。コミュニティーサービスは現在、モニターリングや個人のニーズに基づいたアセスメント、複数の職種でのアプローチを実施しており、例をあげれば看護師と作業療法士、ソーシャルワーカー、リハビリのスタッフがチームを組み地域に入っている。ケアの提供を推進するために看護研究を推し進め、国際的に認められる看護師と看護サービスを発展させる。コミュニティーのヘルスプロモーションとローカルな協議会がパートナーシップを持つように推進する。

表2. マルタ共和国のヘルスシステムで恩恵を受ける対象者

対象者
<ul style="list-style-type: none"> <li>・正式に登録をしてマルタに住んでいる人</li> <li>・EU連盟の人々</li> <li>・発展途上国から正式にマルタに働きに来ている人</li> <li>・不法移民や難民で人間の尊厳の観点から必要な人</li> <li>・その他、正式に認められた人</li> </ul>

資料：Cassar, J. (2011). The Health System of Malta, ICN, Valletta, Malta.

### 3. 看護師不足と未来への挑戦

Centre for Environmental Education & Research - Director at Malta University の Paul Pace 氏は (2011), ICN 講演の中で, 現在, マルタでは助産師を含め看護師不足が社会問題になっており, 新聞をにぎわせていると報告があった. その原因として, ストレスや腰痛, プロフェッショナルな成長の不足感, モーチベーションの不足, 仕事量の多さ, 突然の休日キャンセル, スタッフルームがない等の職場環境の不满, 働きに見合う給料の支給不足を感じていることがあげられると述べる.

人手不足や給料の問題への対処として, 大きく2つのことが上がる. 一つ目は, 定年後の看護師をコミュニティーでのケア提供者として協力を要請, 退職した看護師のリクルートや再教育, 看護学校や看護大学のカリキュラムの見直しや給料の値上も検討している. 二つ目に, 外国人看護師の誘致を積極的に行い, すでにパキスタンからの移住があり, 現在300名の申請者が存在する. 今後さらに看護師確保に向けた明確なプランが必要となる. さらに, プロフェッショナルな成長の不足感, モーチベーション不足の対応への前進として, 看護師のスペシャリスト育成の促進をする. マルタの看護師のゴールは, “Make Proud to be Nurses” である.

## III. 病院見学研修内容

### 1. 急性期病院

Mater dei Hospital は (写真1), 2007年6月末にオープンした. スウェーデン人のデザインと建築による近代的でマルタ共和国を代表する急性期の州立病院である. 825床のベッドと25の手術室を持ち, 急性期に焦点をあてて, すべてのケアが受けられる質の高いケアを行っている. 患者とスタッフの満足度は高く, 教育, 研究も担っている (ICN, 2011).



写真1. マルタ共和国の Mater dei Hospital

イギリスの看護大学で教育を受けた看護マネージャの Ms Isabelle Avallone 氏 (2011) と ER 専門の看護師で, トレーニングチーフである Ms Vicky 氏 (2011) の話によると (写真2), 病院を訪れる一日の患者数は300~400名で, 特に感染症外来が大変忙しい. 病院には8本の電話による24時間 Life Line があり, いつでもだれでも助けが必要な時, 自由に電話をかけることができる. 必要時は看護師, 医師も現場へ出かけていく. 特に花火大会は規模も大きく, 観光客もふくめて, 火傷等のけがに見舞われる人もあり, 忙しい時期でもある. 主な災害は, 浸水, 工場の事故である.

マルタは EU27カ国に参加しており, 人々が



写真2. 病院訪問 左から Vicky 氏, 久米, 著者, Isabelle Avallone 氏

国境を跨いで自由に行き来しており、病院での治療も受けている。特にこの病院は、ドイツ、イタリアやイギリスからの医療観光患者が多く、無料でサービスが受けられることもあり繁栄している。使用されている言語は、英語、マルタ語他、通訳のサービスは充実していて、直前でも電話1本で依頼できてほとんど問題がないが、必要時に間に合わない例外もある。

## 2. 高齢者施設

St. Vincent De Paul Residence (SVPR) は(写真3)、高齢者の安全を確保し、必要なサービスを提供することを目的とした長期ケア施設である。マルタにおける高齢者保健・医療・福祉において、重要な施設と位置付けられている。協会、郵便局やスーパーマーケットなども含む1つの町の様な大規模な施設で、生活に必要なサービスのほとんどを、そこで賅えるようになっていて、現在1050人の高齢者が入居し、その男女比は1対2である。

この施設は一般、精神、認知症、混合を含め33病棟あり、サービスは幅広い。入居者のニーズに合うように近年改築もされより良いサービスを目指している。看護師をはじめとするスタッフによる巡回はあるが、基本的に入居者の



写真3. マルタ共和国の St. Vincent De Paul Residence (SVPR)

自立を支援している。さらに、地域の人にも隣接するアクティビティーセンターを開放し、ゲーム、フィジカルアクティビティー、クッキングやガーデニングも開催されている。在宅療養者が利用可能なレスパイトケア（日本ではショートステイに該当）も提供されている。施設内の看護スタッフは、スペシャリストとして活躍している。また、言語的なコミュニケーションに乏しい海外からの外国人看護師も、マルタの看護師の支援を得ながら就労している（ICN, 2011）。

## IV. 考察

マルタのヘルスケアシステムは、世界で近年問われている外国人や国民へ平等にケアを提供する（Marmot, 2007）ことに挑戦している。さらに看護師不足にも直面していた。その中で、日本でも参考にし得る事があるか模索した。その結果、患者中心で外国人を含めた皆に平等なヘルスケアを目指している事や多言語通訳のタイムリーなサービス充実と退職した看護師の積極的な人材活用への挑戦は日本も参考にし得る。

マルタでは、外国人観光や医療旅行者誘致への一つの手本になるだけでなく、EU27カ国からの訪問者や医療ツーリストを含めたヘルスケアシステムによって外国人にも同じように医療を提供していた。日本では、国民は社会保険や国民保険で個人が医療費の3割を負担しており、外国人は日本の保険の対象外である。現在、人口の減少対策の一つとして、政府による外国人観光や医療旅行者の誘致を目標に挙げて推進している（Japan Tourism Agency Ministry Land, Infrastructure, transport and Tourisms, 2010）こともあり、外国人への平等なヘルスケアも今後の課題となる。

外国から患者を受けいれる場合、言葉の問題は大きく、日本は対応が十分できるところま

で至っていない (Nishikawa et al, 2011, 2008; Kume et al, 2011; 久米ら, 2010, Hudelson et al, 2009; Lay et al, 2006) が, マルタでは電話一本で多言語での通訳者を呼ぶことができるサービスが充実していた。これは今後, 日本で参考にし得る。さらにケアにあたって, さまざまな問題もあるため看護学生時代にも知識を得ることも大切になる (西川ら, 2011)。

マルタでは, 看護師不足の対策の一つとして, 定年退職後の看護師を地域での看護に役立てることを推進していた。数年後に60歳以上人口が25%を占めるようになることをふまえて, 高齢者へのサービス拡充に, 定年後の看護師の力を見込んで政策に掲げている。このことも, 日本が参考にし得ると考える。マルタも日本も含めた他の先進国と同様に外国人看護師の誘致を掲げ, すでにパキスタンからの移住がある。これには, Nishikawa ら (2008) や Bhopal ら (2007) も指摘しているように, さまざまな利点と欠点も存在し今後の課題となる。

## V. 結語

発展国の中で, 質の高いケアが行われていてもそれは経済的に豊かな人々のみ手に入り, 他の人々に行き届いていないこともある。しかし, この小さな国, マルタではヘルスケアを国民平等に供給するという目標を掲げ, 実行している。これは, 小さな国の大きなヘルスといえ, 日本でも参考にし得る事があるか模索した。その結果, 患者中心で外国人を含めた皆に平等なヘルスケアを目指している事, 多言語通訳サービスの充実と退職した看護師の積極的な人材活用への挑戦は日本も参考にし得る。この国のヘルスシステムや看護師の話を聞いていると, ヘルスケアに本当に大切なことは何かを教えられる。それは, いつでもだれにでも降りかかるかもしれない病気やけがをした時, 支払いの心配なく

質の高いケアを皆が平等に受けられることに他ならない。この国の質の高いヘルスケアの継続や日本においても, システムのみにとどまらず人々の努力が必要で, 特にヘルスケアのプロフェッショナルの大勢を占める看護師の力が大きく関与すると確信する。

## 謝辞

今回の執筆にあたり, ICN マルタで基調講演をされた, Dr. Joseph Cassar 氏, Mr. Jesmond Sharples 氏, Paul Pace 氏, マルタの急性病院 Mater dei Hospital の Ms. Vicky 氏と Isabelle Avallone 氏, 高齢者施設 St. Vincent De Paul Residence (SVPR) の方々に深謝いたします。

## 参考資料

- Bhopal, S. R. (2007). *Ethnicity, race, and health in multicultural societies*, Great Clarendon St., Oxford University Press Inc.
- Cassar, J. (2011). *The Health System of Malta*, ICN, Valletta, Malta.
- Hudelson, P. & Vilpert, S. (2009). Overcoming language barriers with foreign-language speaking patients: a survey to investigate intra-hospital variation in attitudes and practices, 9(187), *BMC Health Services Research*, 1-9.
- ICN (2011). ICN Professional visits, Accessed January 12, 2011, <https://b-com.mci-group.com/Registration/Common/ServiceBooking.aspx?WebSitePa>.
- Japan Tourism Agency Ministry Land, Infrastructure, Transport and Tourism (2010). Accessed November 8, 2010. <http://www.mlit.go.jp/common/000125458.pdf>.
- Kume, A., Nishikawa, M., & Goto, K. (2011). Health Promotion for Chinese Students in Japan-QOL Evaluation and Examination of Related

- Factors, ICN, Valletta, Malta.
- 久米絢弓, 西川まり子, 大久保一郎(2010). 在日中国人留学生の保健行動に関する実態調査, *Journal of International Health* 25(3), 171-179.
- Lay, B. Lauber, C. Nordt, C. & Rössler, W.(2006). Patterns of inpatient care for immigrants in Switzerland, 41, *Soc Psychiatry Epidemiology*, 199-207.
- Map Malta Malta.com(2011). Accessed June 19, 2011. <http://www.maltamalta.com/aboutmalta.html>.
- Marmot, M.(2007). Achieving health equity: from root causes to fair outcomes, *The Lancet*, 370(9593), 1153-1163.
- Nishikawa, M. & Kume, A.(2008). Migration Health in Japan: An interpretative case study, XVII the International Congress for Tropical Medicine and Malaria, Jeju, Korea.
- Nishikawa, M., Kimura, M., Akutagawa, K., Tsuda, Y., Kume, A. & Yamanaka, M.(2011). Nursing Issues Relating to the Provision of Health Care to Foreigners in Japan, ICN, Valletta, Malta.
- Nishikawa, M., Izutsu, J., Arai, M., Kono, Y., Akutagawa, K. & Kimura, M.(2011). The Perception of Nursing Care for International Visitors in a Practical Context in Hiroshima, ICN, Valletta, Malta.
- Nishikawa, M., Izutsu, J., Arai, M., Kono, Y., Kimura, M., & Akutagawa, K.(2011). The Concerning of Nursing Care for International Tourists in a Practical Context in Hiroshima, Public Health Nursing Conference in Malaysia, Kuching, Malaysia.
- 西川まり子, 横山ハツミ(2011). 国際看護研修から見る異文化看護への挑戦ーオーストラリア編, 広島国際大学看護学部ジャーナル, 8(1), 71-79.
- Pace, P.(2011). The Health System of Malta, ICN, Valletta, Malta.
- Sharples, J.(2011). The Health System of Malta, ICN, Valletta, Malta.
- UNDP(2010). Human Development Report 2010, Accessed Oct.3, 2011, <http://hdr.undp.org/xmlsearch/reportSearch>.
- UNICEF(2010). The State of the World's Children 2010, New York, USA.